

# バツル・ワ・ワ・ワ 1989

10月  
108

〈事務局〉  
〈編集〉

津田尚美  
大城直子

いっもいっも「男が先」の名簿に\*

《名簿を考  
える。》

## 異議アリ!!

教育現場では、様々な種類の名簿が用いられています。これら名簿の類いが、ことごとく男が先であり、決して男が先で女が後の順序で並んでいます。これら「性差別名簿」は、教育の場で、子どもたちに多大な悪影響を及ぼしていると思います。

### ★—大きな弊害—★

「性差別名簿」の伝える無言のメッセージ、それは、「男が先で女は後」。小学校入学から高校卒業まで、ストレートにいて12年間、くり返しくり返し受けとられる「メッセージ」は、子どもたちに「男が先で女は後、世の中そんなものだ」と、思い込ませる役割を果たします。「男が先で女は後」、即ち「男尊女卑」「男優女劣」といった旧態依然の差別的な女性観を

無意識下に刷り込む働きをしているわけです。これはもう、性差別の再生産と云えるのではないのでしょうか。(→次ページ)

- ・出席簿/1ページに児童氏名一覧表があり、左に男子右に女子と分けて印刷してある。月末統計一覧表にも性別欄で差別されている。
- ・クラブ名簿、委員会活動名簿
- ・図書カード/名前順及び通し番号で差別
- ・成績記録簿・成績一覧表・指導要録
- ・健康観察表・学級保健簿・健康カード
- ・尿検査受診者名簿・きょう虫検査名簿
- ・レントゲン、心電図受診者名簿
- ・給食事務台帳・PTA会費名簿
- ・児童名簿一覧表・卒業生台帳

こんなところに  
性差別がある  
名簿!





論壇

「男が先で女は後」というのは「男は女をリードするもの、女は男に追随するもの」。男は女に対して優越感と、女は男に対して劣等感を持つようになります。

「男につき従う女」のイメージが、こうして、押しつけられていきます。

「男が先で女は後」というのは「男は女をリードするもの、女は男に追随するもの」。男は女に対して優越感と、女は男に対して劣等感を持つようになります。

「男につき従う女」のイメージが、こうして、押しつけられていきます。

出席簿は男女分けて

出席簿は男女分けて、協力し合う文化、まな教室から

出席簿は男女分けて、協力し合う文化、まな教室から

名簿は五十音順で、男女別名簿に改めて

名簿は五十音順で、男女別名簿に改めて

意識改革から、真の男女平等

意識改革から、真の男女平等

男女混合型出席簿と望む（毎日新聞、論壇）

男女混合型出席簿と望む（毎日新聞、論壇）

「区別」ではなく「差別」！

これら「姓差別名簿」に対して、「差別でない、便宜上の区別だ」と言い切る方もおられますが、果たしてそうでしょうか。

真の意味での「男女平等」が、まだまだ達成されていない現状において、「男女別・男が先で女は後」の名簿の採用は、結果として、今ある差別を「なくす」のではなく、「固定化する」という効果を生むのは必至です。

「区別」というのは、両者の関係が対等な「利害関係が生じない」時に用いられる語です。片方（女）ばかりに不利益をもたらす関係を、「対等」（区別）と言えないでしょう。（→次ページへ続く）

「姓差別名簿」にNo!

教育現場で働く人々、一人ひとりの心は、実際のあらゆる場面で、女子ばかりを優遇にしないという思いが、たまたま、女子たちがとも生き生きとしてきた、という報告がありました。会としても、今年初春に、県婦人対等室には、名簿作成に関する申し入れを行なっています。（全報 1989年2月号）

明治以来の、女性差別制度に、色濃く染められたままの、名簿は、もうなくさん。今や、男女平等の精神を反映したものに改める時期に来ているのではないだろうか。（大城 直子）

出席簿男女混合型にしよう

1989年（平成元年）6月17日

堺市では実施へ!

男女混合の50音順に学校名簿を改める堺市のことを報道した記事（89'6'17 朝日）

男女混合の50音順に学校名簿を改める堺市のことを報道した記事（89'6'17 朝日）

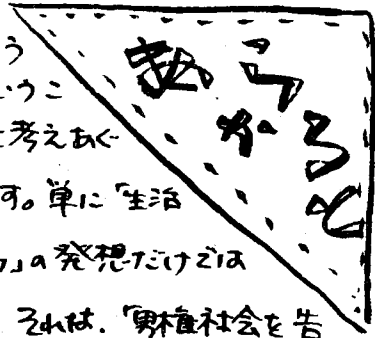
運きに過ぎる「全市で」は初

運きに過ぎる「全市で」は初

幼い時から平等意識を堺市挙げて

幼い時から平等意識を堺市挙げて

またまた新聞に登場した「ぼんちうまん」。「女性視察」という言葉。近頃 とま とりびたにしている様ですが、果た どういうこ



とを指すのか、と考えあへ  
ねる/今日今頃です。単に「生活  
者として、台所から」の発想だけでは  
足りない何か。それは、「男権社会を告  
発するカゲキさ」ではないか。だとすれば  
マスコミ(=男社会)からは歓迎されないだろうね。

▼P2に掲載の新聞記事の投稿者は「行動  
おむすび会」のメンバーでいらしゃいます。この  
会と、ぼんちうまん会は、交流する機会が  
あつて、以来、お互いの会報をやりとりしてい  
ます。各地でかんばしている女性グループと結び  
あうのは、心強い限りです。

▼「朝日」に載った投稿を読んで、私は  
グググ笑ってしまった。映画「女だらけの  
恋」を思い出してしまいました。男女を入れ替えて  
みると、よくわかる、いかに女が差別されてい  
るか。ちなみに、旅博協会がコンパニオン  
を募集しているそうです。年令と未婚者のみ、は

### 女性の視点で新聞に注文を

きょうから新聞週間です。紙面を通じてより正  
確で、より豊富な情報を  
読者のみなさんに伝えよ  
うと努力しているつもり  
ですが、果たして社会の  
動きや人の意識を的確  
に反映しているのかどう  
か、日々、自問の繰り返し  
です。特に女性のこと  
に關しては、問題のた  
え方から表現の仕方ま  
で、自問することが多く  
なりました。



「女性視察は女性」  
というわけではなく、よ  
うなニュースがあつて  
いかなる女性でも、ま  
たと言います。社会の同  
僚の中にも「マドンナ  
」に憧れる女性。女性  
もつて、男を愛するは  
「女性視察」は女性

は男所帯、いつも男の目  
を通して物事を見ている  
わけだから、女性からすれば、  
視点があつたり、不満足  
な記事もあるかと思  
います。

例えば、史上最高の女  
性議員が誕生した参議院  
選挙の際には、新聞、テ  
レビ、週刊誌「マドン  
ナ」といふ言葉が、はん  
らんしました。津田さん  
は「選挙のゆ」したよ  
うなニュースがあつて  
いかなる女性でも、ま  
たと言います。社会の同  
僚の中にも「マドンナ  
」に憧れる女性。女性  
もつて、男を愛するは  
「女性視察」は女性

こちら社会部は (093)531-3236へ  
パソコン通信YOMINETは (093)541-5336・(092)714-2589へ

### 不問にしてはいますが、やはり

「女性のみ」。マスコミ人のひびきは、  
「ぼんちうまん」の会報の成  
果だと評したそうですが、性  
別こそ不問にしてほしいです。

男性コンパニオンを  
歓迎するわけは、  
「ぼんちうまん」の  
会報に掲載する  
投稿者

来月四月に大阪で開催する花  
の万博に、三隻グループが「三  
隻未来船」を出展するが、同  
グループでは、男性コンパニ  
オンを募集、採用する。  
有効な実施計画である。い  
や、むしろ進まずにくだ。  
この世の中は、男と女の半分  
つで構成されている。男は女  
ひかれ、女は男にひかれるの  
が(例外もあるが)世の常とい  
うもの。男性が女性のコンパ  
ニオンに吸い寄せられるのと同  
様、女性もやはり男性に案内し  
てもらう方が、うれしい。  
その男性が、若く、ハンサム  
で、背が高ければ、よい心に  
が浮き立つであろう。  
さて、ここに着眼すれば、毎  
年夏の水着ポスターのおかし  
さが気になる。女性の水着の広告  
がポスターばかりが、氾濫してい  
るのだから。  
私は、同性として、若い女性  
のはちきれそうな身体を羨しい  
と思う。だが、そのポスターに  
は問題が多い。  
女性グループが今夏も、各会  
社に抗議している。胸がはだ  
け、尻をぬかれた女性が恥がさ  
れている。パーボウウィスキー  
の広告は、「レイプされた後」  
という印象を受けるというよう  
に。

それに対し、男性側は、水着  
やハイレグの宣伝広告を抑え  
る次の規制を生む、それが、  
思想の自由、表現の自由を束  
縛することになる、と反論し  
ている。つまり、改めるとより  
はない。  
ポスターは、産受性や学習、  
経験の違いにより、男と女ある  
いは各個人の受け取る印象は異  
なる。あくまでも、理論は平行  
線になる。  
解決策として、男性の水着ポ  
スターも、街頭や電車内に張れ  
ばよいと思う。女に胸を売って  
いる女でもよい。男性の脱  
毛・パットをした足を使つたポ  
スターでもよい。  
見る者、見られる者考える  
時、男性の水着ポスターがない  
方が、おかしいのだ。  
近頃は、男性化粧品の売り上  
げが伸び、男性の美容整形が増  
えている。特に、若い男性は、  
男が「見られる」存在であるこ  
とを意識している。結構なこと  
である。

今年も、ミス・インターナシ  
ナルとミス・ワールドの大会が  
行われた。男が作り出した、女  
だけが目される存在という感覚  
は、時代にそぐわない。まじし  
く旧弊だ。男のミス(？)・イ  
ンターナショナルを開催すべきで  
ある。